

農に生きる
— アスパラガス栽培 —



いいねをいっぱい届けたい

— 目次 —

- | | |
|---------------|-----------------|
| 2・農に生きる | 13・介護員日記 |
| 3・3Q活動展開中 | 無料職業紹介所 |
| 4・特集 総会ダイジェスト | 14・推しれしび |
| 6・ニュース&トピック | 15・金融共済部からのお知らせ |
| 8・座談会Q&A | 16・バラエティーコーナー |
| 12・営農ワンポイント | 18・インフォメーション |
| | 20・営農経済部からのお知らせ |



ふるっぴ



JA秋田ふるさと



選択肢を拡げる 施設栽培の可能性



十文字地区でアスバラガス16aを栽培する佐藤龍太郎さん。

横手市が運営するよこて農業創生大学校で園芸作物の栽培技術や経営知識を農業技術研修生として2年間学び令和4年に就農しました。

佐藤さんの実家はキュウリ農家。家業を継ぐことは意識していたと話します。

「新しい作物を導入し選択肢を広げたい」と豪雪地帯の横手市では珍しい施設栽培のアスバラガスを導入しました。

5月はじめには、夏芽の養分貯蔵のため夏季に光合成させる親茎を養成する立茎作業を行います。昨年の7月には長雨と高温により、病害虫被害に遭い再立茎を行い対応しました。

「今作では、去年の経験を踏まえJAの栽培マニュアルを参考に健全な栽培が行えるよう夏秋と長期的に健全なアスバラガス栽培を行いたい」と栽培技術の向上を目指します。

「試行錯誤しながら行う農業は楽しい。今後は栽培面積の拡大と省力化に向けてIoT・ICTも活用していきたい」と笑顔で話します。

※アスバラハウスで父の孝弘さん(右)と談笑する龍太郎さん

全職員で3Q活動を実施中！

入院や手術のご請求
忘れはありませんか？

ご家族のみなさまにお
変わりはありませんか？



ただいま当JAでは、すべてのJA共済ご契約者のみなさまを対象に、職員総出で近況確認や請求忘れの確認などをはじめとする「3Q」活動を実施しております

災害による建物の被害はあ
りませんか？

R6年度も継続実施中！

あんしんひろがるキャンペーン

さらに、今なら、3Q活動(近況確認や請求忘れがないかの確認活動)ののち、ライフアドバイザーを介してあんしんチェック(契約内容確認・保障点検活動)を実施いただいた方を対象に、抽選で「グルメ専門カタログギフト」が当たるキャンペーンを実施中！
詳細につきましては、ライフアドバイザー訪問時に配付する応募用紙にてご確認ください。



あんしんひろがるキャンペーン



ギュッと

総会詰め合わせ

令和5年度JA部会組織を振り返り、令和6年度の活動基本方針や抱負をお伝えします

News & Topics

ニュース&トピックス

大豆部会

部長 伊藤 一男



VOICE

令和6年産大豆の栽培に向け、高温対策・有機質の利用や排水対策を取り、作付け面積が1,000haを超える供給責任産地として栽培に力を入れて参ります。

品質・収量向上を目標に安全・安心な「秋田ふるさと産大豆」の安定供給をしております。生産販売に必要な情報提供にも力を入れてまいります。

稲作総合部会

部長 柴田 康孝



VOICE

「品質・良食味米」にこだわり、組織連携を強化し、ニーズに即した「こだわりのある米生産」を行い求められる米産地の実現を目指します。

「食の安全と環境に配慮した米生産」「低コスト省力型米生産」「市場ニーズにマッチした米の提供」を軸にした「こだわりのある米生産」に努め、「求められる産地」を作り上げてまいります。

きのご部会

部長 西野 隆功



VOICE

施設栽培が主ではあるが異常気象が想定範囲を超える厳しい栽培環境。生産技術の向上を図り部会員・JA一丸となって目標を達成して参ります。

厳しい経営環境に打ち勝ち、生産技術の向上を図り、生産コストの削減に努め、夢や希望を持てる後継者育成に取り組みます。「高品質」「適期安定出荷」の義務を果たし、作り手と買い手の相互共感をもって販売促進を図ります。

りんご部会

部長 田中 正博



VOICE

JAの「銀世界りんご」を食べてもらえるよう消費者に情報発信し、宣伝・販売を市場・仲卸・JA一丸となって行って参ります。

品種更新、結実確保、高品質安定生産を実現し、安定供給に努めます。また、各選果場間の選果統一をこれまで以上に徹底し、品質のレベルアップによる「銀世界りんご」のブランド産地化に繋げてまいります。

西瓜部会

部長 佐々木 徹



VOICE

昨年の経験を活かし、排水対策の徹底、防除については予防剤の使用を徹底し、どのような栽培環境下でも高品質で美味しいスイカを生産して参ります。

異常気象を想定した「栽培管理の徹底」と「全国に誇れる西瓜出荷」を念頭に大産地の自覚を持ち、天候に左右されない安定生産と品質格差のない安心出荷を目指し、西瓜栽培に取り組んでまいります。

アスパラ部会

部長 小松田 英人



VOICE

近年の異常気象・温暖化に対応した情報共有を随時行い、高品質なアスパラを栽培し、高収量・長期安定出荷に向け頑張っております。

異常気象に負けないアスパラ栽培に取り組み、高品質、高収量、長期安定出荷を目指します。「食の安全・安心」に対する生産者責任を自覚し消費者から信頼される産地を確立してまいります。

綺麗な水と美味しい空気で育てた

安全安心な食材を届けたい

JA秋田ふるさとのねがいです



枝豆部会

部会長 近江谷 久雄



VOICE

病害虫対策や、異常気象対応を行い高品質・安定出荷ができる技術の研鑽を図って参ります。

「多機能型低温倉庫」の予冷機能をフル活用したる予冷対応により、市場流通中心に更なる販売強化を行います。令和6年度においても高品質で安全安心な枝豆の輸出を実施いたします。

きゅうり部会

部会長 丹波 賢太郎



VOICE

天候に応じた柔軟な対応を行い高品質・安定出荷を目標に、令和6年度も一本でも多くのきゅうりを収穫するよう邁進して参ります。

天候に左右されない、高品質・安定出荷を目標とし、「信頼できる産地」を目指します。また、一元集荷、予約相対取引を実施し、価格安定を図り、県内外へ「JA秋田ふるさと産きゅうり」をPRしてまいります。

ぶどう部会

部会長 山下 聡



VOICE

病害対策を徹底し、酷暑を味方につけ、十分に糖度の乗った美味しい高品質なブドウを、責任産地として今年度も消費者の皆様へ届けて参ります。

消費者ニーズの高い「シャインマスカット」の取り組みが増加したことにより、令和6年度より「ぶどう無核会」が「ぶどう部会」と統合いたしました。果樹の統一ブランド「銀世界」での販売促進に取組み、産地のPRを行って参ります。

花卉総合部会

部会長 柿崎 和俊



VOICE

今一度、ものづくりの原点に立ち返りコミュニティの力を駆使し栽培技術の向上を図って参ります。

「多機能型低温倉庫」を有効活用し、コールドチェーン対応によるさらなる品質維持・技術向上により「高品質・安定出荷」を図ります。県内外へ向けた宣伝活動を通し、「JA秋田ふるさと産花卉」をPRしてまいります。

女性部

部長 柿崎 由美子



VOICE

私たち女性部はJAをよりどころに仲間と共に活動することで地域の活性化に貢献したいと考えております。健康を第一にアイデアを出し、活動して参りましょう。

JA女性組織3カ年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう」の実践最終年。3つの重点実施事項「つながろう」「まもろう」「かかわろう」に該当する取り組みを定着させる年となります。食・農・地域の活性化「くらし」に根差した活動、食農教育、国消国産に繋がる活動に努めてまいります。

トマト部会

部会長 傳野 猛



VOICE

物流の2024年問題による集荷体制の見直しや資材費の高騰等が課題。市場との予約相対取引を更に強化し、再生産価格の確保と所得の安定を目指します。

天候に左右されない、高品質で安定出荷できるトマト栽培の技術の研鑽を図ると共に、部会員個々の技術の底上げを図ってまいります。需要に対して柔軟に対応し、生産者と消費者をつなげる活動を実施してまいります。

青年部

部長 山田 浩平



VOICE

今年は、東北青年大会が北海道で開催されます。青年部の活動を他県へPRし、新たな盟友との出会いを求め、活発な青年部活動を行って参ります。

多様な担い手の確保と次世代リーダーの育成に向けて、スマート農業の実践と普及拡大、よこて農業創生大学校等の他団体との交流事業も積極的に行います。地域の盛り上がりに一役買えるように活動してまいります。

JA直売の会「ふるさと安心畑」会長 佐々木 淳



VOICE

地域に根差した直売所の強みを活かし、自分のやれる小さなことを積み重ね、ふるさと安心畑を交流の場として活用し、地域やJAの活性化につなげて欲しいです。

全ての農家が消費者の気持ちになり、徹底した品質管理を基軸に安全安心な農産物を提供します。食と農を通して生産者と消費者と連携した地産地消・食育活動に取り組んでまいります。



花卉総合部会 令和5年度花卉販売実績検討会

花卉総合部会は4月10日、横手市で令和5年度花卉販売実績検討会を開き取引市場、部会員ら67人が参加し令和5年度販売実績や生育の経過が報告されました。

令和5年度の販売数量は745万本（前年比94%）となり、販売額は5億7300万円（同94%）となりました。

優秀者表彰では、徹底した栽培管理により出荷量・販売額が前年度以上と優秀な成績を収めた齋藤貴洋さんが受賞しました。



▲優秀生産者表彰に輝いた齋藤さん

きのこ部会 令和5年度菌茸販売実績検討会

きのこ部会は4月16日、よこてシャイニーパレスで令和5年度菌茸販売実績検討会を開き、部会員や取引市場関係者ら53人が参加しました。令和5年度の販売金額は26億4,100万円（前年比97%）、出荷重量2,182t（同比95%）となりました。

また検討会では、優秀生産者表彰が行われ、販売金額及び1菌床あたりの販売金額が上位となった摂津吉徳さんが最優秀賞に輝き、優秀賞を高田浩哉さん、眞田祥人さんが受賞しました。



▲最優秀賞に輝いた摂津さん

牛乳・乳製品消費拡大 各部会・協力組織総会で牛乳提供

JAは、4月8日から17日の期間に開催される広域の生産部会や協力組織の総会時に牛乳・乳製品消費拡大を訴えるリーフレットと牛乳約1,000パックを配付・提供しました。

この取り組みは、牛乳・乳製品消費の伸び悩みや飼料の高騰の問題により、収益性が悪化する酪農業への応援を目的としています。

総会出席者は「同じ農家として牛乳を飲んで酪農を応援したい」と話していました。



▲総会時に提供された牛乳とリーフレット

農業機械フェア 最新の農業機械など多数展示

JAは4月9日、「農業機械フェア」を農業機械課の敷地内で開き、約70人が来場し賑わいました。会場には、最新の農業機械や管理機・刈払機などの身近な農業機械が並んだほか、生産者の要望に応えた低価格な共同購入コンバインを展示販売しました。

来場者は「これからの農業に役立つ機械を見てもらうために今年就農した息子と二人で来た。実際に触れて体験できることは嬉しい」と笑顔で話していました。



▲展示会場の様子

よこて農業創生大学校入校式 農業の担い手に期待

横手市は4月18日、横手市園芸拠点センターで、よこて農業創生大学校農業技術研修生の令和6年度の入校式を開き、本年度新設のいぶりがっこコースに1人、基本コースに5人の農業技術研修生を受け入れました。

高橋大市長は「2年間という限られた時間ではあるが、充実したカリキュラムと講師陣の経験と知識を吸収し、農家としての技術や自覚を身に付け、横手の有力な農業の担い手として活躍されることを期待している」と激励しました。



▲令和6年度入校の6人の技術研修生

令和6年産「サキホコレ」 播種作業はじまる！

JAでは令和6年産「サキホコレ」を165人（法人含む）で作付けし、319.8ha（前年比163%）の栽培を行う予定です。

4月16日に「サキホコレ」の播種作業を行った秋田ブランド米栽培研究会会長の柴田康孝さんは、「JAが作成した栽培マニュアルに沿って適切な栽培管理を行い、良いサキホコレを作りたい」と意気込みを語りました。管内では4月下旬頃種まきの最盛期を迎え、5月中旬に田植え作業が始まります。



▲家族で播種作業を行う柴田さん（左）

農業体験交流学習 サキホコレの種まきに挑戦

増田小学校の5年生児童25人は4月22日、増田高校の生徒の指導のもと県のブランド米「サキホコレ」の種まきを体験しました。

この事業は、種まきから食べるまでを児童らが体験し「食」と「農」の大切さを学んでもらおうと市が企画し、20年以上の歴史があります。参加した児童の一人は「この前食べたサキホコレは美味しかった。元気に育てほしい」と真剣に種まきをしました。

田植えは5月上旬の予定で、児童らは高校生らと共に収穫から販売までを体験します。



▲児童らに種蒔きを指導する増田高校の生徒

JAバンク食農教育応援事業 食育補助教材寄贈

JAは4月4日、子供たちが食・環境と農業への理解を深めるきっかけにしてもらおうと、補助教材620部を横手市教育委員会に寄贈しました。この補助教材は平成20年度からJAバンクが全国的に展開している「JAバンク食農教育応援事業」の一つとして製作されたもので、小学生（5年生を中心とする高学年）を対象として、農業技術の移り変わりや農産物が食卓へ届くまでの様子などを掲載。

教材は各学校で今後、社会科や総合学習の授業などで活用される予定です。



▲伊藤孝俊教育長（左）へ柿崎大二朗専務（右）が贈呈



—みなさんの声に お答えします—

令和6年3月14日から19日にかけて各地区235会場で開催した春季支部座談会には、1,685名の正組合員の方からご参加いただき、様々なご意見・ご要望をいただきました。今回は回答できなかったご質問やご要望を中心に、一部抜粋しご回答させていただきます。

① 営農部門

Q1・水田活用の直接支払交付金対象水田に係る5年水張りルール及び畑地化促進事業について、座談会資料だけでは分からない部分が多く具体的な詳細が分かる資料や説明会を開催してほしい。

A・5年水張りルールと畑地化促進事業の内容につきましては、地域再生協議会（事務局は横手市、美郷町）からの現在JAで知り得る情報を座談会でお伝えさせていただきました。取り組み内容の変更等もあり、地域再生協議会でも国内内容確認しながら随時生産者対応している状況です。当JA各生産部会の通常総会時にもこの取組みに係る説明を実施しておりますが、今後も地域再生協議会と協調したJAができる対応を進めてまいります。

Q2・5年水張りルールについては反対や見直しの意見が多いので、JAとして陳情や要望書などを通じて国に働き掛けてもらいたい。

A・国が令和3年12月に決定した方針に従い、令和4年度からは5年水張りルールが厳格化されております。県内JAグループで

は、JA秋田中央会を介して令和4年3月4日に秋田県議会へ、令和4年3月26日に自由民主党幹事

長へ、令和4年5月12日、10月13日、令和5年5月12日に県選出国会議員へ水田活用の直接支払交付金の見直しに関する要望書を提出しております。主な内容は、①交付金の対象水田から除外する見直しは、農業水利施設の管理が困難な圃場等が耕作放棄地となり、離

農者の増加が懸念されることから、運用にあたっては、丁寧な説明を行うとともに、生産現場の実態や課題を十分に踏まえて進めること、②農地及び集落を維持するため、大豆・そば・麦等の土地利用型作物の取り組みについては、生産者の所得が減少せず、意欲を持って生産活動に取り組めるよう、支援措置の継続を行うこと、③畜産振興に向け、自給飼料確保に努力している生産者にとっては、この度の多年生作物（牧草）の扱いは、唐突な見直しによる交付金の削減であり、耕畜連携による地域の営農継続の仕組みを崩壊させかねないことから、現場実態を十分に把握した上で見直しをすること等を求めています。これ以外でも様々な機会を通じて行政に対し見直し改善要望を訴えておりますが、

現段階では定められたルールに合

わせて実施せざるを得ない状況になっております。

Q3・「あきたこまちR」の育種方法に関して安全性を疑問視する情報が出回っている。消費者への正確な情報伝達と風評被害防止の対応を積極的に行ってもらいたい。

A・組合員の皆様には、令和5年11月に秋田県主導により各地区にて「あきたこまちR」導入に係る説明会を開催いたしました。

現在でも新聞への掲載や多くの媒体を通じて正確な情報提供に努めております。しかしながら、県内外の消費者から安全性を疑う意見が行政やJAなどに寄せられていることも事実です。寄せられたご意見には行政も含めて丁寧に対応させていただきながら、引き続き風評被害防止に努めてまいります。

Q4・「サキホコレ」を作付けするための要件はどんなものか。また、令和5年産の収量や品質等の実績はどうだったのか。

A・「サキホコレ」を新規に作付けするためには、①県の指定する推奨地域であること、②申込申請年（実際に作付けする前年）の前年または前々年産「あきたこまち」1等米比率90%以上且つ玄

米タンパク値6.5以下、③生産団体に加入し、特別栽培米に取り組む等が主な要件となります。当JAではこの後8月頃に令和8年産の新規作付者を募集する予定です。令和5年産「サキホコレ」の品質は1等米比率92.6%、集荷数量は出荷契約対比101.8%(1,046.13t)となりました。

Q5・共同乾燥調製施設(CE・RC)の稼働率が100%を超え、今後の施設運営の方向性はどのようなのか。

また、カントリー利用者にもカメムシ防除対策等、品質を重視した栽培管理に努めるよう指導してもらいたい。

A. 共同乾燥調製施設の増強は喫緊の課題と認識しておりますが、管内大規模生産者の乾燥調製施設への利用斡旋誘導、荷受け期間中の糶摺り出荷を中心に利用調整を図り、近隣JA施設の共同利用も視野に入れながら取り組んでまいります。また、施設利用者のカメムシ防除等品質対策につきましては、施設利用者個々の品位鑑定を行っており、品質が悪いものは品位係数が低下し個人手取り額の減少につながることから、利用者の皆様に対する品質向上を促す営農指導に努めております。

Q6・米の精算時期が不定期であるため何かと不都合がある。予め精算日を決めることはできないか。令和5年産の追加精算や最終精算はいつ頃で金額の見通しはどの位か。

A. 米の需給環境が悪化していた令和2年産主食用米から、国による長期計画的な米保管を支援する米穀周年供給・需要拡大支援事業が実施されております。これにより、米の販売期間が実質先延ばしになり、併せて年産単位の精算期間も伸びました。全農を主体とする当JAの米販売に係る最終精算も前述の理由により、令和2年産米から精算時期にバラツキが生じております。当JAでは、全農で最終精算を実施した後で生産者の皆様への本精算とさせていただきます。令和5年産米の追加・最終精算も全農の精算時期に足並みを揃えて実施してまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

Q7・もみ殻処理に係るフォーミル(もみ殻の圧縮成形機)導入により、JA乾燥調製施設のみならず、生産者個人のもみ殻も処理してもらえるのか。また、もみ殻をくん炭化して水稻育苗培土への使用試験を実施するとあるが、JA

ではこれを事業化していくのか。A. JA乾燥調製施設から排出されるもみ殻量は年間約5,250tですが、全て順調に処理されている状況ではありません。このうち1,645tが処理に苦慮しており、この数量を令和6年度に導入する「もみ殻成形機」で圧縮成形し、畜産向けの敷料として販売する事業計画です。この事業と併せ、もみ殻くん炭に微生物を添加したものを水稻育苗培土へ混和して使用する試験も実施しながら、生産者段階も含めた管内で排出されるもみ殻の有益な処理方法について検討してまいります。

Q8・多機能型低温倉庫に各地区からの農産物を一元集荷する理由はないか。

A. 令和6年4月より、物流現場の労働環境改善に向けて、「改正労働基準法」及び「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」が適用となり、ドライバークの時間外労働・拘束時間の規制が強化されております。

それにより、現在の物流体制では輸送能力が不足する可能性が懸念されており、秋田県では令和7年に35%、令和12年においては46%の荷物が運べなくなる可能性があり、全国で最も高くなる試算

となっております(「野村総合研究所」試算による)。

これらの課題解決に向け当JAでは、各出荷所へ出荷された青果物を多機能型低温倉庫へ一元集荷及び市場ごとにパレタイズを実施し一晩予冷後、市場出荷を実施致します。この取り組みにより、ドライバークの集荷時間及び荷積みみの拘束時間を短縮し効率的かつ安定輸送を確保してまいります。また、一晩予冷による品質管理が強化され有利販売の充実に図ってまいります。

※パレットに荷物を効率的に積み込むプロセス

Q9・排水対策機械(ハーフソイラ)貸し出しに対応するトラクター能力及び取付方法を知りたい。

A. 令和5年度に導入致しました排水対策機械「ハーフソイラ」の適応トラクターは45〜60馬力となっており、なお、適応トラクターでも圃場条件(乾湿・土質)や作業深度・運行速度(15km/以下)等で牽引できない場合があります。牽引できない場合は1本爪に変更が可能となっておりますのでご利用をお願いいたします。トラクターへの取り付けは「3点リンク式」となりますので、トックリンクのご準備をお願いします。詳しい内容は利用申込みの際に各

営農センターでご確認願います。

Q10・温暖化に適応した果樹の樹種変換や品種更新とはどういうことか。

A. 近年は温暖化の影響で収穫期の最低気温が高く、日中との気温格差が小さいため、「つがる」等の早生りんごが着色しにくい傾向にあります。そこで、早生りんごから着色管理が不要な西洋梨への樹種転換、または優良着色系りんごへの品種更新を図ろうというものです。

② 経済部門

Q11・資材のWEB注文の取り組みはスムーズに進んでいるのか。

A. WEB注文組合員専用サイトにつきましては、令和6年用予約注文（肥料・農薬）から取り組みを開始しております。

この取り組みは県内JAに先駆けて開始いたしました。当JAとWEB注文システムとの連携面まだまだ不完全な状態があり、改善に向けてシステム整備を進めております。

現在、組合員の皆様が利用するサイト注文による受注に関しては順調に稼働しております。令和7

年用WEB注文予約についても、随時募集しております。是非ご利用をご検討くださいますようお願いいたします。

③ 担い手支援部門

Q12・担い手支援室は耕作を斡旋してくれるが三角田が多い。

一方で、地元若い担い手がいるのに、他地区の受け手が耕作しに来ている。地元で受け入れできなければそれでも良いが、ちゃんと管理してくれるかも不安。地元の担い手を優先して斡旋してもらいたい。

A. 農地の利用調整にあたっては、基本的に地元の担い手を優先させていただいておりますが、地域・圃場条件によっては、受け手の確保が困難な場合もあり、借受条件を含め他地区の方が受け手となる場合もありますのでご理解をお願いいたします。

Q13・担い手支援室について、どこまで農業支援に踏み込んでいるのか。営農継承・若手育成をもっと行ってほしい。

A. 担い手支援渉外FASTによる訪問活動（年間約1,200件）、無料職業紹介事業（77件

マッチング）、土地利用調整（出し手397件↓受け手206件、355ha）の3事業を基軸に、法人設立、新規就農支援、補助事業支援、金融相談などJAの総合力を生かした部門間連携による多面的な支援に取り組んでおります。ご相談いただく内容も年々高度化、複雑化しておりますが、引き続き地域農業の持続・発展に向けた支援体制の強化を念頭に活動してまいります。

Q14・1日農業バイトアプリdailyworkの給料（賃金）について

A. 1日農業バイトアプリdailyworkは、秋田県農業労働力サポートセンターが推奨する「農業で働きたい人（求職者）」と「働き手を探している生産者（求人者）」を「1日単位」で結ぶサービスです。

給料（賃金）は、最低賃金以上で求人者が自由に設定します。この勤務条件に納得して応募した求職者と求人者がアプリ上でメールのやりとりをして雇用の契約を決定します。賃金の支払は現金で当日お渡しですが、求職者から口座振込など依頼があった場合には双方の話し合いによります。公的機関の協力もあり、アプリの

利用料（手数料）は完全無料で、求人者に発生する費用は求職者にお支払いする賃金のみです。（ダウンロードやパケット通信料は別途利用者のご負担）

④ 金融共済部門

Q15・共防（任意団体）でキャッシュカード作れないか。

A. 団体の代表者の方がキャッシュカードの発行手続きを行っていただくことと、代表者の方がキャッシュカードの管理を行っていただくことを前提に作成することができません。なお、ATMでの入出金は千円単位までのお取引となり、硬貨の入出金はできませんので、ご了承願います。

Q16・日銀マイナス金利解除による各種ローン金利の見直しは控えてほしい。

A. 日銀マイナス金利解除により貯金金利が上昇傾向にある現状です。貸出金利についても市場金利や他金融機関の動向を見極めながら検討してまいります。

Q17・同一支店内の入金に手数料を取らないでほしい。

A. 令和5年10月からのインボイ

ス制度導入に伴い現在のシステムに変更がございました。店内用取引が廃止され、振込については為替振込に統一されることとなりました。そのため、為替振込手数料は現在880円（税込）になりましたが、当JA内の振込については半額の440円（税込）に設定いたしました。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

振込につきましては、ATMやネットバンクをご利用いただくことで、手数料が無料やお得になる取引もございますので、ぜひご利用くださいますようお願い申し上げます。

Q18・投資信託はどれだけ売れているのか。実績を教えてください。
A. 昨年10月より窓口販売を開始し、2月末での販売実績は約86百万円、口座開設件数で91件（内NISA口座64件）の実績となっております。

Q19・自動車共済の案内が来たが、ペーパーレスの時代なのに、紙でくるお知らせが他の保険会社と比べて多い。約款の冊子についても無駄な経費、削減できる経費がまだあるのではないか。
A. 当JAの共済業務では、令和6年度より事務レベルの向上を目

指しペーパーレスやキャッシュレス、Web約款への切り替えなど、デジタルツールの活用を押し進めてまいります。今後も皆様のご意見、ご要望を反映させながら経費の削減とサービスの向上に努めてまいります。

⑤ 管理部門

Q20・支部再編の取り組みについて

A. 支部によって置かれた状況は違うものと思われれます。まずはその見極めを支部とJAで現状を把握し、情報を共有することで支部の望ましい将来像を勘案してまいります。JAとしては組合員が5名以下の支部に対し再編について協議する場を設けていただくようアプローチしてまいります。その際はご協力の程よろしくお願い致します。

Q21・組合員の高齢化が進んでいることからメールの配付、特に准組合員への配付を郵送にしても良いのではないか。

A. 郵送での対応はこれまでも検討したところですが、本年の郵便料金の値上げなど、経費負担が多く大変厳しい状況です。出来るだ

け負担をお掛けしない方向で検討しておりますのでご理解の程よろしくお願い致します。また、メールや配付物での負担軽減については十分に配慮した内容となるよう検討してまいります。

Q22・離職者が多い。10年末満の職員の退職が目立つので、職員の手当も厚くしてもらわないと働き甲斐がないのではないか。また、人事ローテーションの必要性は理解しているが、業務に精通した職員を育成するため部門を固定（例えば、営農資材関係職員は営農資材関係部門のまま）して人事異動を実施してもらいたい。

A. 令和6年度採用は、中途を含め15名の採用となっておりますが、自己都合退職者は23名となっております。ほぼ前向きな理由での離職です。また今後、職員のベースアップも検討させていただいております。人事異動に関しましては同様のご意見を頂戴しておりますので出来る限り対応させていただきますと思います。

Q23・自己資本比率10%以上維持するところがあるが直近でいくらか。また、自己資本比率10%以上を目指すところがあるが、どのように目指すのか。

A. 令和5年3月末基準で13.53%となっております。今後も引き続き、事業利益の確保による利益剰余金・資本準備金の内部留保を最優先とし、中長期的な安全性の経営指標である自己資本比率の維持・向上を目指します。

Q24・剰余金を組合員へ還元することはしないのか。また、剰余金をどう扱っているのかわからない。
A. 剰余金については、協同組合理念のもと、共同施設の整備が組合員・利用者様への利益還元と考えています。共同施設の整備には毎年多額の費用が発生しますが、整備が整い改善がされた場合は、出資配当等を検討したいと考えております。剰余金については、総代会においてその処分方法を議案として上程し、承認されております。令和4年度は、当期末処分剰余金が310百万円、自己資本を図る目的で利益準備金に140百万円、将来の施設更改のための積立金として50百万円を計上し、次期繰越剰余金額は120百万円でした。

ご紹介できなかったご意見やご要望につきましては、お手数ですが本店または各支店・営農センターへご相談ください。皆様からの貴重なご意見・ご要望については、今後のJA事業運営のご参考にしていきたいと考えております。



果樹課 栗谷 全



早期摘果で 大玉促進と樹勢維持をしましょう

■果実肥大

りんごの果実肥大は開花後約1か月の間は細胞数の増加、その後収穫期までは細胞の肥大により起こります。

このため開花後1か月の間に果実への養分分配量が少なかったり天候不順で細胞分裂が抑制されると、果実の細胞数が少なくなり小玉果となります。

早期摘果で果実の養分競合を減少させ、細胞分裂を活発にすることが大玉生産につながります。

摘果が遅れると小玉になるだけでなく翌年の花芽形成にも影響しますので、適正な着果量になるように早期に作業を進めましょう。

■満開後30日まで粗摘果を実施

●作業が遅れそうな場合は摘果剤（ミクロデナポン水和剤85）を散布する方法もあります。気温が高い日の午前中にたっぷり散布するのが効果的です。摘果剤の効果は散布後10〜14日で現れます。効果が出てから仕上げ摘果を行うようにしましょう。

●中心果を残し、果実の肥大が劣り障害も多くなる側果を落とします（原則的には中心果を残しますが、果形や肥大が明らかに劣る場合には側果を残すようにします）。

■落花後25日頃まで仕上げ摘果を実施

●摘果量は別表[※]の通りで、「ふじ」の場合4〜5頂芽に1果の割合とします。着果数は、樹勢が弱い樹には少なく、樹勢が強い樹には多くし、樹勢を安定させましょう。

●「つがる」は他の品種に比べて早期落果の危険が高いため、早めに摘果を終えてください。また、「ふじ」は隔年結果を起こしやすい品種なので、摘果の遅れや過着果のないようにしてください。

●正常果を残し、変形果・奇形果等を摘果していきます。
●残す果実と果実の間隔は20cm程度（おおよそ摘果バサミ1丁分）を目安とします。

りんごの果そう



※別表

着果基準	品 種
3〜4頂芽1果	つがる、王林、など
4〜5頂芽1果	ふじ、など

◇お問い合わせ◇

果樹課 0182-2316266

介護員日記

Vol.18

デイサービスだいがこの里から

おとなの学校の授業風景

キーンコーンカーンコーン♪

日直「起立、礼っ、着席」(拍手)

先生「2時間目は理科です。○○さん、教科書

生徒1「はい、写真の花の名前はなんですか」

先生「はい、ありがとうございます(拍手)。(問

答のやり取りがあって…中略)「ところで、

生徒2「若い頃、生け花を習ってたから、花は何

でも好きだなー」

先生「んだすか。どこで習ってたんですか」

生徒2「それがしゃ、…(20代の頃と思われるお

話を聞かせてくれました)」

先生「へえー、そんなことがあったんですねー。

教えてくれてありがとうございます(拍手)

教科書をきっかけにお話が盛り上がり、あっと

いう間に30分の授業が進みます。

若かりし青春の日々を思い出してみんなに聞いて

もらう、そんな楽しい一日を多くの皆様に過ご

していただきたい、それがだいがこの里の願いです。

詳しくはだいがこの里
☎56-0296へ



月～金曜日の10～15時の5時間(定員15名)入浴なし。要介護・要支援等の認定を受けている方を主な対象としたサービスです。

ショートステイ
ほほえみ感謝から

4月中旬、新型コロナウイルス感染が数名発生し、数日間受け入れを休止させていただきました。
ご利用者様はじめ関係者の皆様にご迷惑をお掛けしました。暖かくなってきましたが、これからも体調管理に気を付けて営業してまいります。

▼4/24・25、ケアマネジャー様向けの体験会を開催しました。利用者様向けの体験授業も受付しています。ぜひお試しください!



今月の教科書(理科の頁)

(株)JAふるさと福祉会(代表) ☎0182-56-0292 介護の困りごとは当社ケアマネにご相談ください。

R6年度JA秋田ふるさと無料職業紹介所稼働状況について

令和6年4月30日現在

作目区分	前月末有効求人数 ①	当月受付求人数 ②	当月求人数合計 ③=①+②	紹介実績		現在の有効求人数 ⑤=③-④	有効求人情報 作業内容・品目等	1日農業バイトアプリ JA管内活用状況 (R6.4.1～R6.4.30)	
				件数	うちマッチング ④			アプリ登録農家	17経営体
水稲	18	7	25	11	6	19	種蒔き、田植え、作業全般	うち求人募集	2経営体
果樹	9	2	11	5	3	8	桜桃、りんご、桃、ブドウ	仕事登録数	7件
野菜	12	18	30	10	1	29	ほうれん草、西瓜、枝豆ほか	募集人員	9人
花卉	2	0	2	0	0	2	定植、管理、収穫、出荷調整	応募人員	9人
菌茸	2	2	4	5	1	3	椎茸	マッチング成立	7人
その他	3	3	6	8	2	4	種苗・養蜂・養豚	マッチング成立率	77.8%
計	46	32	78	39	13	65			

※求人数には、マッチングに至らず求人期間が経過したものや個別に労働力を確保して取下げられた数は含まれておりません。

農業労働力を受け入れる側の体制整備に関するワンポイント情報「農業での雇入れ時教育」について

～令和6年4月から労働安全衛生法関連規則が改正され「雇入れ時教育」の指導義務が拡大されました～
農業で雇入れする際には、以下の項目に関する注意点を確実に伝え、安全第一で農作業に取り組みましょう。

4月から追加

- ◆機械・原材料などの危険性、有害性、取扱い方法
- ◆安全装置や保護具の性能、取扱い方法
- ◆各作業の手順
- ◆各作業開始時の点検

- ◆発生の恐れがある疾病の原因と予防
- ◆整理整頓と清潔保持
- ◆事務時の応急措置と退避
- ◆その他の必要な事項

※詳細は、農林水産省労働安全衛生 HP「労働安全衛生に関する教育」に掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

JA秋田ふるさと 担い手支援室内 無料職業紹介所 厚生労働大臣届出受理番号 05-特-000016
〒013-0036 秋田県横手市駅前町6番22号 TEL 0182-35-2659 FAX 0182-35-2699

「スタミナニライス」



●材料（2人分）

ニラ	1束（150g）
豚ひき肉	150g
塩	小さじ¼
サラダ油	小さじ1
ごま油	小さじ1

【調味料A】

しょうが（すりおろし）	小さじ1
砂糖	小さじ2
しょうゆ	小さじ2
ナンプラー※	小さじ2
酒	大さじ1
豆板醤（お好みで）	小さじ1

ごはん	2膳
卵黄	2個

※ナンプラーはしょっつるに替えても。なければしょうゆを。

●作り方

①下準備

ニラを5mm幅に刻む。しょうがをすりおろす。調味料Aを合わせておく。



②炒める

フライパンを中火に熱し、サラダ油を引く。ひき肉、塩を入れ炒める。ひき肉に8割ほど火が通ったらニラを入れ炒める。調味料Aを入れて汁けがなくなるまで炒め、最後にごま油を回し入れる。



③盛り付けて完成

皿にごはんと②を盛る。最後に卵黄をのせて完成。



ニラをたっぷり食べることができます。卵黄を温泉卵や目玉焼きに替えたり、豆板醤で辛さを調節したり、お好みのアジアンカフェ風ごはんが楽しめます。

今月の 食材

ニラ

JA秋田ふるさとにら部会

JA秋田ふるさとにら部会は部会員20名で、令和5年度の販売額は2,180万円の実績となっています。主に金沢地区と十文字地区で栽培されており、5月中旬から10月下旬まで、管内の露地生産の園芸品としては最も長期間の出荷が行われております。主に県内・東北の市場に向けられ、葉先がしっかりとした濃緑色の良品出荷に高評価を得ております。



お手続きをJAがサポートします
特典
 いっぱい

たいせつな**年金**の
 お受け取りは
 ぜひ**JA**で♪



©よりぞう

特典その1
 年金口座指定
 記念品プレゼント

- ・ステンレスボトル
- ・今治バスタオル
- ・マルチファスナーケース
- ・キッチンセット

など

プレゼントから、
 お好きな品を選べます！



特典その2
 特別金利
 年金
 定期貯金



特別金利で定期貯金・
 定期積金がご利用いただけます。

※詳しくは窓口へお問い合わせください。

特典その3
 年金友の会
 優待施設
 ご利用サービス

JAバンクあきた
 2024年度版



優待利用施設の
 ごあんない

各施設にて
 会員証を
 ご提示ください

提携施設名	優待・特典内容
-------	---------

横手市

大森林業者等 休養福祉施設 さくら荘	夕食時大森ワイングラス 1杯またはソフトドリンク1杯 サービス(宿泊者)
株式会社 アクアス 横手店	店内価格より 5%割引 (一部商品・送料を除く)
ゆとりおん大雄	レストラン飲食 5%割引
ホテルクオードイン yokote	①特別優待宿泊料金 例:シングルB(7,300円⇒6,000円(税込))他 ②レストラン「ぐうくう亭」5%割引 ③チムジルバン「リフレッシュスパコート」 50円引き(低温サウナ)
おものがわ温泉 雄川荘	入浴料 100円引き ※会員証のご本人様に限ります。
雄物川温泉 えがの丘	入浴料 100円引き ※会員証のご本人様に限ります。

提携施設名	優待・特典内容
-------	---------

美郷町

農家レストラン 米サラダハウス	レストラン 5%割引
ニテコ名水庵 (kuraカフェ)	お食事をされた方へ ニテコサイダー 1本サービス
道の駅美郷	ソフトクリーム購入代金 50円割引 (現金のみ・お一人様1個のみ)
千畑温泉 「サンアール」	ご宿泊の方へ ニテコサイダー 1本サービス
六郷温泉 あったか山	ご宿泊の方へ ニテコサイダー 1本サービス
湯とびあ 雁の里温泉	お食事処 雁の里でのお食事の方へ コーヒー 1杯サービス
美郷屋	ジェラートアイス 50円引き (現金のみ・1個のみ)
宿泊交流館 ワカス	ご宿泊の方へ ニテコサイダー 1本サービス



ふるさとの民話

山鳥になつた子供

●再話／中川文字 ●画／佐々木愉美子

昔むがし、女房に先立だれで
しまつて、一人で子供ご育て
でる父親えだけ。難儀して稼
いだなで病氣になつて腰立だ
ねやぐなつてしまつたども、親
子二人してなんじがかんじが生
活してだけ。

気の毒に思つた隣家の人
「餅っこ搗いだがら持つて来た。
汁っこさでも入で食え」つて来
たけど。すぐに食いでやがつた
ども、搗ぎだでだがら手掴みで
食うわけにもえがねや。子供ど
さ「畑から菜っ葉採つて来い。
それで汁っこ作しやで、餅っこ
入で食うべ」つて言付げだけ。

父親、なんぼ待ちでらたて子
供が戻つてこねやおだがら、た
まりかねで手掴みで餅食つたん
だ。搗ぎだでの餅、性急して
食つたおだがら喉さつつかえで
しまつたけど。でだばだして悶
絶つて、そのまま死んでしまつ
たけど。

村の皆んな集まつて、葬式出
してだけ。餅持つてきてけ
だ隣家の人「オラ、悪りがつた。
搗ぎだでの餅っこ、そのまま
持つてきて。せめで、粉っこ付
ければえがつた。オラ、殺した
えたおだ」つて、オエオエ泣
ぐけど。
したば子供、「粉っこ付けで
食は死なねやがつたべが」つて
言うなで、「んだべなや。粉っ
こ付けで食は、死なねやがつた



がもしれねやなや」つて応えだ
けど。
両親ど死に別れで一人になつ
てしまつた子供ご哀れんで、
村の皆んなして回り番こで養育
う相談したけど。したども、子
供はその晩の内に姿を消してし
まつたんだ。

皆んなして探ね回つたば、山
の方がら「♪父粉食え、父粉
食え♪」つて鳥つこの鳴く声が
聞げで来たんだ。村の衆は、
「屹度、あの子供が鳥っこになつ
て、山で泣いでるなだべな」つ
て思つたんだ。
その鳥が山鳥だつていう話だ。
とっぴんばらりのぼう



▲QRコードを読み取ると
音声で「ふるさと民話」をお楽しみいただけます。

おたより



●表紙の雰囲気がガラツと変わり、農
家さんの顔がグツと迫つてくるよう
でした。バックの色が違つるとこんなにも
変わるんですね。いろんな人の紹介を
期待しています。

大森 佐々木 せい子さん(68)

●4月ならではの職員紹介。これから
の農協、農家を支える若い力に大いに
期待しています。地産地消でいっぱい
食べて健康に気を付けて頑張つて下さ
い。

平鹿 P.N 芝桜さん(84)

●一足早い桜の満開に草もポーポー。
草むしりに精を出した後の推しれしび
「ハニからポーク」旨かつたです。ガツ
ツリ食べました。

横手 P.N S.Iさん(73)

●介護の仕事をしています!!毎回の介
護員日記に心、ほっこりです!!

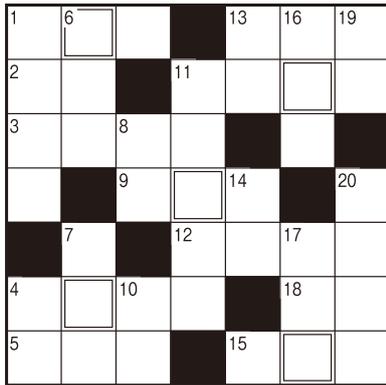
雄物川 P.N キャラメル君さん(67)

●いよいよ今年の農作業も本格的に
なつてきたところです。そのタイミン
グで、今回の農業機械の自主点検は的
を射た企画だと思ひます。当たり前と
いう方も多しと思ひますが、参考に
なつた人も結構いると思ひます。

横手 笈川 吉弘さん(72)

クロスワードパズル ☆☆☆

晴れた日に最高ですね



【解き方】全部の問題を解き二重枠の文字を並べ替えると一つの言葉ができます。それが答えです。

↓ タテのカギ

- 1 アルバイトの——試験を受けた
- 4 黄色に黒いしま模様がある猛獣
- 6 ご——の良い日にお越しください
- 7 ケシ科の花、特にヒナゲシのこと
- 8 味を感じ取ります
- 10 沖縄では5月中に——入りすることが多いですね
- 11 ゴールデンウィークのホテルは、——客で混雑しそう
- 13 魚偏に占と書く魚
- 14 凸という字の音読みは
- 16 早く笑る稲は早稲(わせ)、遅いものは
- 17 ポケットの中でチャリチャリと鳴ることも
- 19 相撲の取組を数えるときに使う言葉
- 20 衣服のしわをのばします

→ ヨコのカギ

- 1 陰暦の5月のこと
- 2 棋聖、天元、本因坊といえ
- 3 ワインやウイスキーはこれ
- 4 話題となるような出来事
- 5 ギョーザのたれに入れる辛い調味料
- 9 指揮者が振るもの
- 11 家臣が仕えます
- 12 村下孝蔵のヒット曲。歌い出しの言葉は五月雨(さみだれ)です
- 13 目には——山ホトトギス初ガツオ(山口素堂)
- 15 遠くの親類より近くの——
- 18 1と-1の間

柳屋本店食卓の彩
たまごスープ・みそ汁詰合せ
3名様にプレゼント



静岡県焼津製造のかつお節を使用したフリーズドライを詰合せ。

【応募方法】

ハガキに左記①～⑦までの項目をご記入の上、下記までご応募ください。左の点線を切り取って管内最寄りの支店まで持参いただくかハガキに貼り付けてもご応募できます。なお、お寄せいただいたご意見は「おたより」のコーナーに掲載させていただきます。

【応募先】

〒013-0205 横手市雄物川町今宿字前田面20
J A 秋田ふるさと 広報担当
または J A 秋田ふるさとホームページ
<http://www.akita-furusato.or.jp/> からでも OK。
(「みなさんの声と作品をお寄せください」バナーをクリック!)

【締切】5月22日(水)当日消印有効



- 4月号の答え/フリージア
- 4月号の当選者/
P.N さんぽ人さん
P.N ヘビースモーカーさん
P.N ゆっこさん
- 応募総数/89通
- 正解者数/84通

(J A 秋田ふるさと 営農経済部 食農販促課 行)

①クロスワードパズルの答え

--	--	--	--	--

②住所 〒

③氏名 (P.N.)

④年齢 歳 ⑤電話番号

⑥該当する組合員区分 ※○をつけてください

正組合員・正組合員家族・准組合員・員外

⑦今月の好きな記事とその理由
または当誌や J A へのご意見・ご感想

お知らせ

■スマート農業機械実演会開催について

様々な場面でスマート農業機械が活躍しています。農業分野では生産者の労力コスト削減に大いに役立っており、今後ますますスマート農業利用者が広がりが続くことが推測されます。

今回の実演会では、ドローンによる除草剤の散布の利便性と効率性を実感していただきたく標記実演会を開催いたします。

日時

5月31日(金)午前9時～

※雨天時は中止

場所

農事組合法人 城野岡圃場

圃場地番 横手市赤坂高口付近
(旭小学校近く圃場枚数4枚)

内容

①ドローン実演

機体名：DJI T-20

(ドローン専用除草剤散布)

②ラジコン草刈り機実演

機体名：(株)アテックス

神刈RJ705

圃米穀課

☎0182-231-6556



■こんぷりちえ倶楽部 第1回 男の料理教室



昨年ご好評をいただきました魚のおろし方講座を今年も開催！

日時 6月8日(土)午前10時～

(午前9時30分受付)

場所 横手支店2階調理室

内容 「鰯の三枚おろし」
「鰯の南蛮漬け」

会費 1,000円

定員 12人(定員になり次第締切)

持ち物 エプロン・三角巾

圃食農販促課

☎0182-231-6540

ei-syokuhan@akita-furusato.or.jp



■「歩こう会」2024初夏開催 ～横手市 大森公園周辺～

日時 6月14日(金)※小雨決行

午前9時30分 受付開始

集合 横手市大森体育館駐車場

(住所：横手市大森町持向19-2)

会費 2,000円

持ち物 雨具、汗拭きタオル、飲み物、レジャーシート

定員 50人(定員になり次第締切)

申込期限 6月7日(金)

行程 9時30分 受付

10時 開会式・準備運動

10時15分 スタート

11時15分 ゴール

11時30分 さくら荘へ移動

12時 昼食(さくら荘)

13時 解散

※歩きやすい服装でご参加ください。

※雨の場合は「ウォーキングについての講話」と「健康体操」を行います。

※昼食後に入浴することが出来ます。

圃各営農センターへ



■野菜の作り方講習会 秋～越冬編

秋から越冬の野菜の作り方講習会を開催し、秋野菜全般の上手な作り方や野菜作りの疑問にお応えします。

講師 (有)高橋種苗園

取締役統括部長

細谷 潔氏

日時 6月19日(水)13時30分～

場所 よこてシャイニーパレス5F

参加費 無料

定員 60人(お申込み先着順)

備考 日頃困っている事など事前にお聞きできれば確実にお答えできますので、申し込み時に担当へお伝えください(もちろん当日でも結構です)。

※筆記用具・飲物は各自ご持参ください。

※昨年度は2会場で開催していただきましたが、今年度は1会場のみとなります。

※新企画として11月頃に「春～夏編」を実施予定です。

圃6月12日(水)までに各営農センターへお申込みください。

■農林漁業団体に勤めていた住所未登録の方を探しています！

農林年金では令和2年4月の法律改正に基づき、特例一時金の支給を進めております。しかし、農林漁業団体を退職された方のうち農林年金に住所が登録されていない、あるいは転居等で住所が不明となり特例一時金の請求書を送りできない方(住所未登録者等)が存在します。

特例一時金の請求期限は令和7年3月末となっております。お心あたりのある方は農林年金住所登録センターまでお問い合わせください。

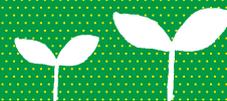
圃農林年金

☎0120-199-1155

ホームページ

<https://www.norinengin.or.jp/>





理事会だより

【第1回定例理事会】

令和6年4月30日(火)

報告事項(抜粋)

- 令和6年度JA秋田ふるさと民間流通米集荷推進本部の設置について
- 令和6年産米契約並びに売り渡し委託契約について
- 令和6年産米「ふるさとecoらいす」取り組み要領の設定について
- 農畜産物の販売状況について
- 令和6年度の職員採用について

議案(抜粋)

- 令和6年度固定資産の取得について(3件)

- ・横手RC アンダス攪拌機更新工事(2基)
- ・大森CE 荷受操作盤及びサンプル移送装置更新工事
- ・十字字CE 荷受計量機操作盤更新工事

- 令和6年度JA秋田ふるさと米穀共同計算委員の選任について
- 令和5年度「コンプライアンス・プログラム」実施状況報告及び令和6年度「コンプライアンス・プログラム」実施計画について
- 福祉事業子会社化に伴う各種諸規程等の一部改正について
- 第26回通常総代会開催について

退職者のお知らせ

下記の職員が退職いたしました。長い間お世話になりました。

【退職(4月30日付)】()は旧任
佐藤 丈 (農業機械課)

供花のご注文承ります



ご予算・形状はご相談に応じてご用意いたします。

会員価格 **19,800円**

一般価格 **22,000円**

「事前相談/みどりの会のご入会」も随時受け付けております。

株式会社ふるさと舞祭 **アグレム** 電話 **0182-52-3930** FAX 0182-52-3931
HP/https://ja-sousai-agulemu.com/

JA秋田ふるさと 稲作“ほっと”ラインのご紹介



LINE 公式アカウント 稲作“ほっとLINE”

タイムリーな稲作情報をお伝えするべく携帯アプリ「LINE」で発信しております。

友達募集中



QRコードから追加♪

利用方法

LINEアプリダウンロード方法

App StoreまたはGoogle PlayにアクセスしLINEで検索するかカメラでQRコードを読み取り表示されたアプリをダウンロードしてください。



LINE利用には新規アカウントの設定が必要となります。

【登録方法】

右のQRコードの読み取り先の登録方法をご確認ください。



JA共済連秋田

JA共済事業スタートフォーラム2024

JA共済連秋田は4月25日、秋田市で共済事業スタートフォーラム2024を開催しました。

令和5年度の優績表彰では、当JAから優績ライフアドバイザー(LA)表彰で齊藤諒太さん(横手支店)、伊藤瞬さん(金沢支店)、優績スマイルサポーター表彰で石川りりさん(大森支店)が受賞しました。



▲組合長らと令和5年度の優績表彰の皆さん

■令和6年産米「ふるさとecoらいす」取り組み表示札設置の廃止について

平成28年産米より「ふるさとecoらいす」の農家啓発運動として実施して参りました「**取り組み表示札の設置**」につきまして、ecoらいすの取り組みがほぼ100%になったことにより、令和6年産米より表示札の設置を廃止いたします。

表示札の設置廃止に伴い、生産者の皆様には防除・栽培管理日誌に新たに署名・捺印いただく欄を設けた「防除・栽培管理日誌兼証明書(誓約書)」を提出していただくこととなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※特別栽培米については、特別栽培農産物(米)の生産に係る国のガイドラインに従い、引き続き圃場への表示札を設置していただきます(専任指導による圃場の現地確認を実施いたします)。

■皆様が大切に育てた新鮮な「朝採り野菜」を出荷してみませんか？

「朝採り野菜」の出荷者を常時募集しています!!

自分のペースで出荷OK

皆さんの栽培した自慢の野菜を出荷してみませんか？

「朝採り野菜」は、地域で生産された農産物を地域で消費しようとする「地産地消」の活動を通じて、消費者のニーズである「安全安心で新鮮なおいしい野菜(果物)をいち早く県内消費者の方々へ食べていただきたい」という思いから始まったものです。

■参加条件/どなたでも参加でき、どなたでも出荷できます。

※出荷物に関する「協定書・栽培日誌」の提出が必須となります(簡単な書類です)。

■出荷時期/毎年5月連休明け~11月中旬まで毎日出荷しています。



出荷野菜

「きゅうり」「アスパラ」「いんげん」「えだまめ」「トマト」「ホウレンソウ」「りんご」「なす」「わらび」「漬物」等
200種類ほど出荷されております!

お問い合わせ先 各営農センターまで

JAの概況

Situation

組合員数 17,501人
 (正組合員) 11,667人
 (准組合員) 5,834人
 貯金 1,192億2,617万円
 貸付金 391億2,849万円
 購買品取扱高 60億9,873万円
 販売品取扱高 196億8,537万円
 共済保有高(保障) ... 3,241億4,389万円
 (2024年3月末現在)

暑い年なので、今年も花や樹木にとっても今年間は、間以上早く満開を迎えています。例年であればGW近くに桜が満開となっていました。今年も1週間以上早く満開を迎えています。例年であればGW近くに桜が満開となっていました。今年も1週間以上早く満開を迎えています。例年であればGW近くに桜が満開となっていました。今年も1週間以上早く満開を迎えています。

先日、取材の道中に平鹿地区の田中を通った際、色鮮やかなチューリップが咲いていました。思わず管理作業中だった皆さんに声をかけて写真を撮らせていただきました。地元で奇麗な場所があると嬉しくなりますよね!



JA通信 ふるさと

発行/秋田ふるさと農業協同組合
 企画/編集/食農販促課 〒013-0205 横手市礎物川町今宿字前田面20
 印刷/㈱全農ビジネスサポート秋田支店

TEL / 0182-23-6540
 FAX / 0182-23-6501
 E-mail / fu.staff@akita-furusato.or.jp

秋田ふるさと

検索

検索サイトでJAのホームページに簡単アクセス!